

小中一貫教育目標

資質・能力に支えられた「生きる力」の育成

めざす子ども像

自分を磨き、社会の一員としてよりよく生きようとする児童生徒

研究主題

主体的に学ぶ・ねばり強く生きる児童生徒の育成
～「分かる!」「できる!」仕掛けづくりを通して～

育てる資質・能力

知識・技能

問題の解決

主体性・協働性

郷土愛・貢献

授業改善・学びの基盤づくり

研究の重点

- 「主体的に学ぶ」児童生徒の実現に向けた授業改善
- 児童生徒が「ねばり強く生きる」ことにつながる整った生活習慣の定着

授業づくり部会

○児童生徒が「分かる」「できる」実感を得られる授業づくり

(『学習5項目』の取組)

◎「分かる」:課題提示の工夫, 発問の工夫, 学習内容をふりかえる場の設定

◎「できる」:単元の中で, 児童生徒がやりきれる適応題やパフォーマンス課題の設定
(時間や内容の工夫)

○タブレット等のICT機器の効果的な活用

- ・教材や教材提示の工夫
- ・思考ツールの活用
- ・反復による基礎・基本の徹底

学びの基盤づくり部会

○児童生徒が「生活5項目」を高める意味が「分かり」実現「できる」取組

・「生活5項目」の徹底

○児童生徒の郷土愛と貢献のよさが「分かり」実現「できる」活動の設定

- ・異学年グループによる体験活動・地域貢献活動
- ・児童生徒代表者会「子どもサミット」の活動

○家庭を巻き込み, 生活習慣を整える意味が「分かり」実現「できる」取組

学校・地域・家庭の協働

地域素材・地域人材の有効活用・家庭の教育力向上